Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

本調査は、区政に対する区民の意向などを把握し、今後の行政施策の検討・立案の際の基礎的参考資料として活用することを目的に実施した。

２　調査の内容

１　定住性について
２　生活環境について
３　幸福実感度や地域愛着度について
４　公共施設について
５　地域活動への参加について
６　スポーツ・運動の実施状況について
７　ＳＤＧｓについて
８　環境について
９　ごみ減量・リサイクルについて
10　みどりについて
11　水辺利活用について
12　心の健康・自殺対策について
13　防災について
14　広報とデジタル化について

３　調査設計

（１）調査地域　　品川区全域
（２）調査対象　　品川区在住の満 18 歳以上の男女個人（令和 6 年 7 月 1 日現在）
（３）標 本 数　　2,500 標本
（４）母 集 団　　品川区住民基本台帳の満 18 歳以上の男女個人
（５）抽出方法　　層化二段無作為抽出法
品川、大崎、大井、荏原、八潮の５地域を基本に８地域に層化し、
地域の人口比に応じて地点数を比例配分する。
（６）調査方法　　郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
（７）調査期間　　令和 6 年 8 月 15 日～9 月 15 日
（８）調査機関　　株式会社　ケー・デー・シー

地域区分図

調査地域内訳

地　域　名	左記地域に包括される町（丁）名
品　川　地　域	東品川、北品川、南品川、西品川、広町
大　崎　地　域	上大崎、東五反田、西五反田、大崎
大 井 東 地 域	東大井、南大井、勝島
大 井 西 地 域	大井、西大井
荏 原 東 地 域	戸越、豊町、二葉
荏 原 中 地 域	平塚、中延、西中延、東中延、旗の台（２～５丁目）
荏 原 西 地 域	小山台、小山、荏原、旗の台（１・６丁目）
八　潮　地　域	八潮

※参考：各地域の高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の人口の割合・令和 6 年 7 月 1 日現在）

各地域の高齢化率

	区全体	品川	大崎	大井東	大井西	荏原東	荏原中	荏原西	八潮
総 人 口　（人）	411,413	77,333	70,577	57,340	48,508	44,046	48,712	53,338	11,559
65歳以上（人）	80,893	14,697	11,721	9,955	9,686	9,955	10,301	10,342	4,236
高齢化率（%）	19.7	19.0	16.6	17.4	20.0	22.6	21.1	19.4	36.6

４　回収結果

（１）標　本　数　　2,500

（２）有効回収数　　948　　（有効回収率：37.9%）

内 訳　　郵送回収数　　530(55.9%)

インターネット回答数　418(44.1%)

（３）地域別回収結果

地域別回収結果

地　　域	18歳以上人口（人）	構　成　比（%）	標　本　数（人）	回　収　数（人）	回　収　率（%）
区　全　体	356,475	100.0	2,500	948	37.9
品川地域	65,835	18.5	463	203	43.8
大崎地域	61,050	17.1	437	151	34.6
大井東地域	49,413	13.9	350	118	33.7
大井西地域	41,742	11.7	291	110	37.8
荏原東地域	39,024	10.9	266	96	36.1
荏原中地域	42,911	12.0	299	108	36.1
荏原西地域	46,448	13.0	327	124	37.9
八潮地域	10,052	2.8	67	25	37.3

5　報告書を読む際の留意点

（１）　回答比率（%）は、当該選択肢の回答者数を、各層における回答者の総数（表中の“ｎ”）で除算している。なお、回答比率（%）は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表記している。

（２）　単一回答の設問では、集計表の数値が上記（１）における四捨五入の処理のため、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100%以上となる。

（３）　クロス集計のグラフや表について、表側（表の左側に配置される項目）となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含まれるので、表側の各層における件数の合計が、全体の件数と一致しない場合がある。

（４）　数値を読み解く際、特に回答者数が少ない層においては、その標本誤差に留意する必要がある。

（５）　「10 代」は回答数が少ないため、20 代と合算し「10 代・20 代」と表記している。また、「80 歳以上」は回答数が少ないため、70 代と合算し「70 代以上」と表記している。

（６）　標本誤差 d は層化二段無作為抽出法においては以下の計算式で表される。

$$d = \pm\lambda \times \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

λ：信頼係数
Ｎ：母集団の大きさ
ｎ：回答者の総数
ｐ：回答比率

95%信頼水準の場合、信頼係数は1.96であり、また、母集団の大きさが標本の大きさに対して十分に大きいとき、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$となるため、上記の式は以下のように近似できる。

$$d = \pm 1.96 \times \sqrt{2 \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

下表は本報告書において簡便に標本誤差を確認できるようにした早見表である。

標本誤差早見表

n ＼ 回答比率（P）	10%または90%程度	20%または80%程度	30%または70%程度	40%または60%程度	50%程度
948	±1.95	±2.60	±2.98	±3.18	±3.25
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
700	±2.27	±3.02	±3.46	±3.70	±3.78
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

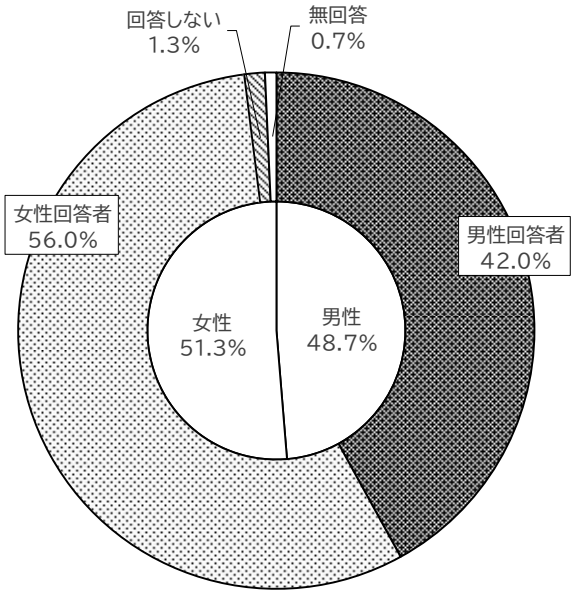
（７）　本文やグラフ・集計表上の表記は、紙面の都合上、語句を簡略化している場合がある。

６　母集団との比較

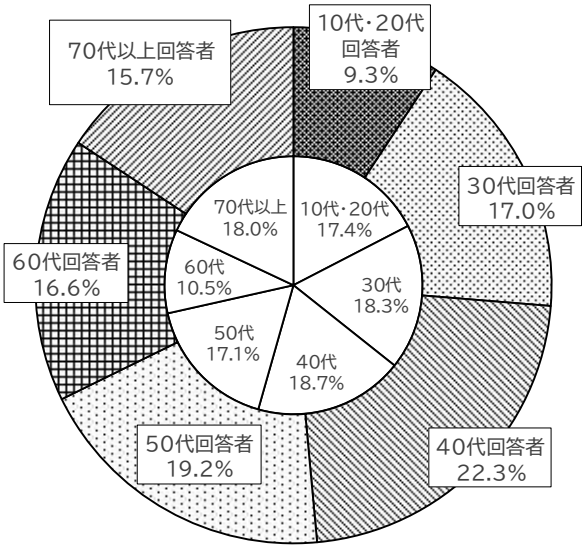
母集団（品川区住民基本台帳の18歳以上の男女個人）と比べると、調査回答者の性別では女性が4.7ポイント高くなっている。また、年齢では60代の回答者が6.1ポイント、40代の回答者が3.6ポイント高くなっている。

（注）母集団は、品川区の総人口：411,413人（男性201,503人、女性209,910人）から、
0歳～17歳人口：54,938人（男性28,054人、女性26,884人）を除いた人数となる。

（１）性別



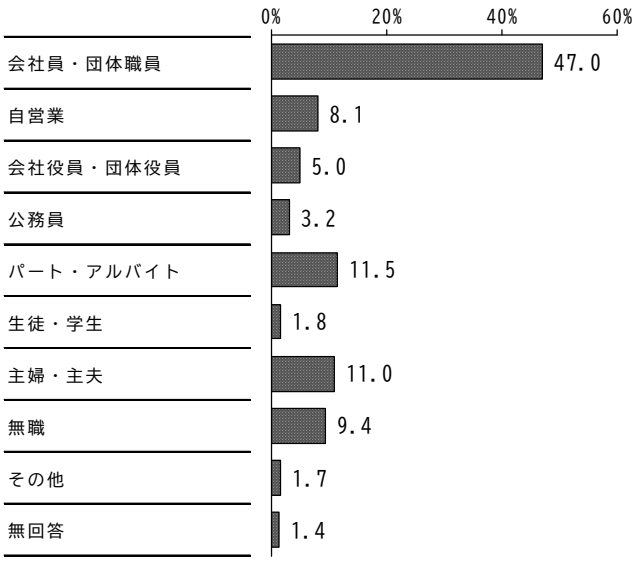
（２）年齢



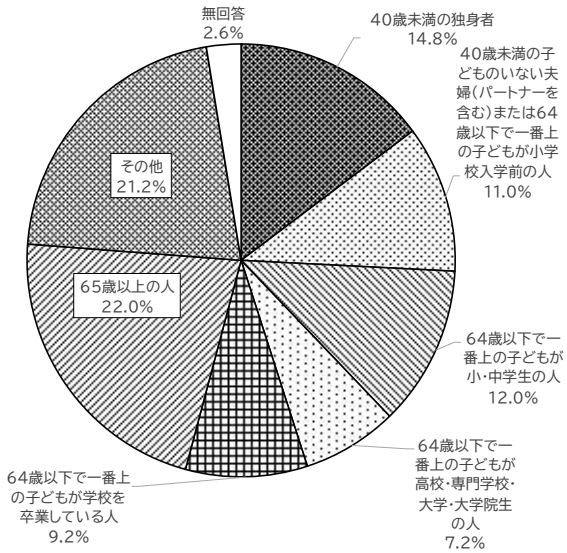
（注意）内円は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している。

7　調査回答者の属性

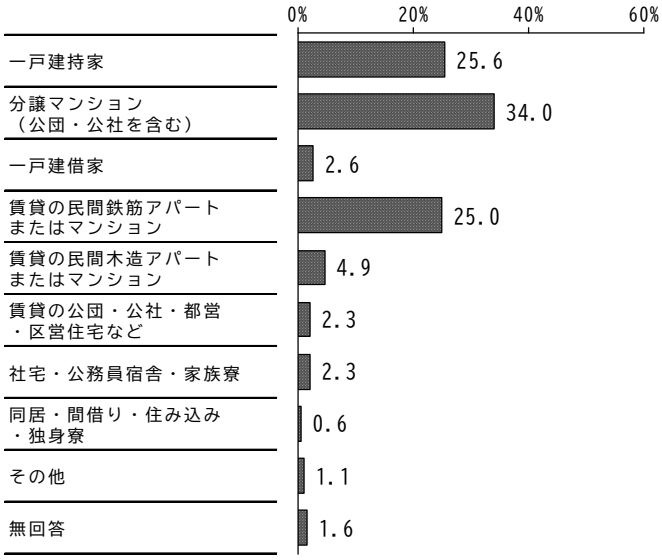
（１）職業



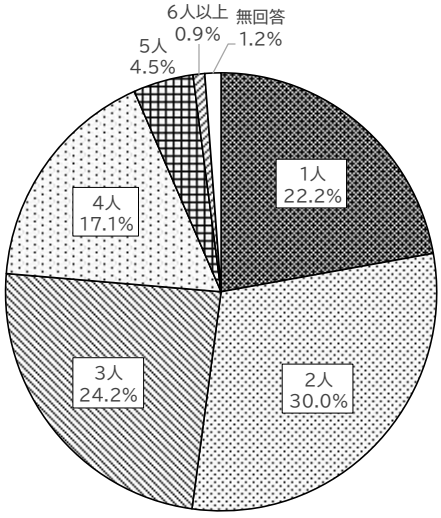
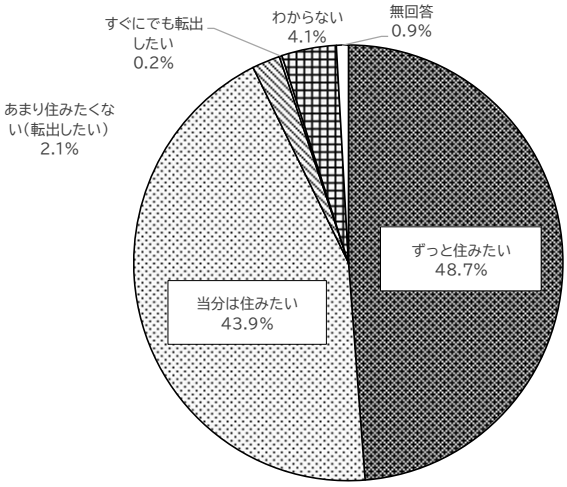
（２）ライフステージ



（３）住居形態



（４）家族人数



（５）定住意向